

死の谷の果てに見た希望

～アキュメン社のメンバーが語る失敗事例～

2018

11/1 (木)

18:30 - 21:00

(18:00 受付開始)

医療業界で現在ご活躍される3名をお呼びして、「失敗事例」について語っていただきます。今回登壇される3名は2005年に九州大学発のベンチャー企業として設立されたアキュメン社の創業に関わった方々です。

今回は敢えて、アキュメン社在籍時代の「失敗事例」を語っていただくことで、皆さんの学びにしていだければと思います

@日本橋ライフサイエンスハブ



カギモト タダヒサ

鍵本 忠尚

株式会社ヘリオス 代表執行役社長 CEO

「死の谷の果てに見た希望」



イシクラ タイキ

石倉 大樹

株式会社 日本医療機器開発機構 (JOMDD) 取締役 CBO

「スタートアップ経験から学んだ3つのレッスン」



カツタ ワイチロウ

勝田 和一郎

シンクサイト株式会社 代表取締役

「キャリアとしてのバイオベンチャー：リアルなその後」

※スカイプで登壇となります

Networking Night *with supporters*

プログラム

- 18:00 - 受付
- 18:30 - ご挨拶
- 18:40 - プレゼンテーション
- 19:30 - パネルディスカッション
- 20:00 - ネットワーキング

会場へのアクセス

日本橋ライフサイエンスハブ

東京都中央区日本橋室町 1-5-5
室町ちばぎん三井ビルディング 8階
東京メトロ銀座線・半蔵門線「三越前」直結、JR 総武線「新日本橋」直結※ご来場には公共交通機関をご利用ください。



参加申し込み

下記サイトよりお申込みください

<https://linkj-nwn21.peatix.com>



※ LINK-J サポーター・会員の方は、割引コードをお伝えしますので、LINK-J までご連絡ください。

参加費

LINK-J 会員 ¥500

非会員 ¥2,000

※飲みもの、軽食付（懇親会）

お問合せ

一般社団法人ライフサイエンス・イノベーション・ネットワーク・ジャパン (LINK-J)

TEL:03-3241-4911 (平日 9:00-17:00)
E-mail:contact@linkj.org web:www.linkj.org

登壇者プロフィール

鍵本 忠尚

カギモト タダヒサ

九州大学病院にて眼科医として勤務の後、起業。日本の大学発のバイオ技術 BBG250 を利用した眼科手術補助剤を開発し、インド・米国での自社第Ⅲ相治験を経て欧州において承認取得・上市を果たしデファクトスタンダードの地位を獲得した。2011年、加齢黄斑変性の治療という初心の実現に向け、(株)日本網膜研究所(現(株)ヘリオス)設立。2015年東証マザーズ上場。iPS細胞由来網膜色素上皮細胞による加齢黄斑変性治療法の実用化に取り組み他、体性幹細胞を用いた脳梗塞急性期治療の開発においては、現在国内で第Ⅱ/Ⅲ相治験を実施中であり、「『生きる』を増やす。爆発的に。」というミッションのもと、iPS細胞等の幹細胞技術を用いた新たな治療法の開発を進めている。

石倉 大樹

イシクラ タイキ

医療分野での起業・新規事業開発に特化。創業ベンチャー・アキュメンバイオフーマで上市(欧州)を成功させた後、医療ITベンチャー・エムスリーにて、製薬企業及び医療機器メーカーの治験を加速化させるITサービスの新規事業開発をリード。スタンフォード大学経営学修士課程(MBA)留学中には、Medicine XのInnovation Sourcing Teamとして、mHealth及びHealth Techのstartupを投資検討し、Biodesignプログラムも経験。2013年、創業間もない株式会社日本医療機器開発機構に参画し、これまでに計21億円の資金調達をリード。主に新規事業、ソーシングを担当。現P5,Inc.取締役、現ノバルティスファーマ株式会社Biocamp審査委員、平成27年度東京大学大学院薬学系研究科非常勤講師。平成29年新エネルギー・産業技術総合開発機構NEDO TCP (Technology Commercialization Program)メンター、ほか。

勝田 和一郎

カツタ ワイチロウ

東京大学卒業後、アキュメンバイオフーマにて日本や米国における医薬品・医療機器の事業開発や経営企画を経験。その後、経営コンサルティング企業にてグローバル医薬品・医療機器メーカーへの中長期経営戦略立案やマーケティング戦略立案等に従事し、INSEAD MBAプログラムに留学。帰国後の2016年に太田禎生(東京大学先端科学技術研究センター 准教授)らとともに、シンクサイト株式会社を共同創業。光学、流体、機械学習等の先端技術を融合した新しい細胞分析システムを開発し、革新的な治療や医療診断技術への応用を進めている。